

おかだ耕一

後援会会報
No.34
2007.3.1

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局 〒471-0809 豊田市宝来町4-758-141 TEL/090-1752-7529 (番号通知のみ受信)

これからもおかだ耕一にあたたいご支援を



おかだ耕一が議席をいただいて早や7年が経過しようとしております。爾来これにちまで、積極的な議員活動を展開し、他の先輩議員に伍して堂々と主張するすばらしい議員へと成長してまいりました。

「変革する勇気と責任」おかだ耕一の主張は、多くのみなさまにご支持をいただき、市政においてもおおきなインパクトを与え、こんにちに至っております。これまでの提言では、地域のみなさまのご要望をはじめ、たえず市民の目線にたった問題提起を行い、これが実りある成果となったことは、いうまでもありません。その一例を紹介しますと、「病児保育施設の開設」「議会運営費の節減」等々多岐にわたっております。

おかだ耕一の議員活動が本格的に展開されたことによって、真にわたしたちの地域に密着した諸問題が解決へと進み、多くの市民の共感をえたことは、これまでの成果が如実に証明しているのです。これらは、彼自身のたゆまぬ研鑽と、綿密な調査等々、なみなみならぬ熱意と努力の賜物のほかありません。このように、若さとパワーで活躍するおかだ耕一を、私たちは地域代表としてはもちろん、全市域で活躍できる議員として、これからも積極的に支えて行かなければなりません。

そして、この4月にはいよいよ市議会議員選挙が行われます。私たちは、この有能な青年おかだ耕一を、全員が一丸となって、積極的に支援し、支えていくことを、ひとり一人が固く決意し、邁進しようではありませんか。

おかだ耕一後援会 代表世話人 中田 重信

恵まれ過ぎた本市の状況を危惧する



豊田市は、全国的にも財政に恵まれた自治体として知られていることが災いしてか、とかく行財政改革に関心が無いように感じています。今は、自動車産業が好調ですので、税収もありがたいことに十分確保できていますが、企業、産業は永遠ではありません。

それは、かつて炭鉱の町として栄えた夕張市の現状が端的に物語っています。また、新婚旅行や職場旅行の定番と謳われ、地方交付税の不交付団体であった熱海市でも、現在は積み立てた基金を取り崩すといった状況になっています。その基金も底をつくことから、2006年に熱海市長は財政危機宣言をしています。さらには現在、市の税収となっている法人市民税等を国税化する議論もさまざまな場でされております。

私は、財政的に体力のある今こそ、抜本的な行財政改革が必要だと思っています。その第一歩として、議員自らの問題でもある、各種議員特権の見直しや議会改革はもちろん、他の議員がなかなか取り上げない市職員の優遇問題等も指摘しなければなりません。

今後も市長や市職員、他の議員に嫌がられようとも「言うべきは言う」議員として、市民の目線でものを見、市民の立場で考え、活動する議員を目指してまいります。

豊田市議会議員 岡田耕一

おかだ耕一の重点取り組み事項

- 👉 子育てしやすい社会を実現
- 👉 児童生徒の安全管理と教育環境などの充実
- 👉 安心して暮らせるまちづくり
- 👉 生涯スポーツ振興の環境整備
- 👉 環境問題への取り組み
- 👉 行財政改革の推進と議員、職員の優遇施策改革

とよた市民の会 無料法律相談のご案内

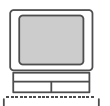
開催日/3月10日(土)・4月14日(土)
5月12日(土)・6月9日(土)
時間/いずれも午後1時30分~3時
場所/豊田産業文化センター4階にて

お問合せ 豊田市議会議員 おかだ耕一 090-1752-7529

弁護士に無料で相談できます。予約制ではありませんので、しばらくお待ちいただくことがあります。ご了承下さい。あわせて、行政相談も実施しておりますのでお気軽にお越し下さい。

一般質問の質問&答弁の郵送希望の方は、090-1752-7529 までご連絡下さい。

インターネットでは
<http://www.ko1.org/gikai/index.htm>
からアクセスできます。



4月22日は豊田市議会議員選挙の投票日です。

おかだ耕一 2期目の主な活動と成果

十 医療・福祉

◆◆病児保育施設の開設◆◆

※病児保育とは、お子さんが突然熱を出しても急に仕事を休めない、子どもを看護してもらえない人がいない、そんなときに一時的に病気のお子さんを医師とともに保育士、看護師が対応する保育です。

平成14年12月、15年6月、16年6月議会の一般質問で取り上げるとともに、保護者、民間診療所と連携し、働きかけた結果、市の当初計画になかった病児保育施設を17年度に、すすくこどもクリニックで開設することができました。また、20年には加茂病院でも開設されます。



市が医師のいない病後児保育しか考えていなかったときに、おかだ議員は医師が常駐する病児保育の必要性を訴え、私たち保護者の声を代弁してくれました。その結果、市の事業として病児保育が実現しました。現在、利用している方も多いようで、働くお母さんたちの強い味方となっています。おかだ議員の更なる活躍に期待しています。

(平戸橋町 森 久美子さん)

十 環境

◆◆教育施設での焼却炉撤去◆◆

ダイオキシン汚染、老朽化による破損等による危険性から小・中・養護学校、幼稚園、保育園等の焼却炉撤去を平成15年3月議会で提案したところ、15年度中に、補正予算対応ですべての教育施設での焼却炉撤去を完了しました(合併地区は18年度中に完了)。また、18年9月の決算特別委員会で再度確認したところ、藤岡地区の石畳保育園の撤去がまだだったことが判明。18年度中に撤去完了予定です。

十 医療・福祉

◆◆新加茂病院への救命救急センター設置◆◆



豊田市の医療に欠けているものは、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重症救急患者を受け入れる24時間体制の救命救急センター

(第3次救命救急医療)機能です。おかだ耕一は、公的医療機関整備特別委員会委員(平成11、12年度)、加茂病院移転問題特別委員会委員(13年度)として、「加茂病院新築移転の際には公費負担してでも救命救急センターを設置するよう」主張、強く要望した結果、20年1月開業予定の新加茂病院(豊田厚生病院)には救命救急センターが設置されることになりました。

十 財政・税金

◆◆交通安全教育施設の計画縮小◆◆

市は当初、交通公園のリニューアル構想として、10haの用地に100億円もかけてドライバー教育のための施設を併設した交通安全教育施設を計画していました。しかし、おかだ耕一は「市レベルでこのような整備を進めているところはない。ホンダの施設やキョウセイ交通大学のように民間に任せるべき」と他の新政クラブ議員らと主張した結果、交通安全教育施設を、ドライバー教育施設を除いた施設計画に変更させ、大幅に建設費を圧縮させました(約5haで約25億円の見込み)。

十 環境

◆◆藤岡プラントのバグフィルター破損事故の透明化◆◆

市民の方から「渡刈清掃工場内にごみがあふれているが、どうなっているんだ」との声をいただき、平成16年2月24日に現地を視察。藤岡プラントの90トン焼却炉のバグフィルター(ダイオキシン等の除去装置)の破損により、ごみ焼却が不能となったことが原因と判明しました。翌日、藤岡プラントも視察したところ渡刈清掃工場同様に屋内外にごみが積み上げられていました。そして、16年3月定例会でこの問題を取り上げ、原因究明および議会に対する報告を要求しました。おかだ耕一が追及しなければ、表に出なかったこの問題の調査結果が、16年4月23日に全議員に報告され、原因究明と再発防止が図れました。

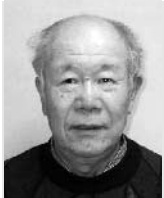


たまたま行った渡刈清掃工場内に大量のごみが積み上げられている状況を見て、私からおかださんに「どうなってるのか調べて」と電話したところ、速やかに対応され、市が隠していた大きなトラブルが発覚したようです。これからも市民の声を大事にする、現地現物主義の議員として、頑張ってください。(京町 藤沢 登さん)

暮らし

◆◆第2宝来ふれあい広場が存続◆◆

第2宝来ふれあい広場が、土地所有者の意向により宅地化されようとした際、地域の皆さんと一緒に市へ働きかけるとともに、平成15年12月議会の一般質問でも「地域に本当に必要な広場は残すべき」と主張した結果、市が用地を取得し、今でも地域に愛される広場として活用されています。



平成15年11月4日、広場所所有者より、売却するとの連絡がありました。11月5日よりおかだ議員と連携し、市長に広場存続を陳情しましたが、第2宝来自治区単独での広場設置は困難と判明しました。おかだ議員には市公園課、近隣自治区との調整をして頂き、市が用地を取得し、志賀ニュータウン自治区と共同利用という形で存続できました。ありがとうございました。

(平成15、16年度第2宝来自治区区长 西野 健二さん)

教育

◆◆安全な通路への全面改修◆◆

東山体育センターのグラウンド北側と東山保育園を結ぶ通路が急傾斜でなおかつ狭いことから「通りやすい通路にして欲しい」という地元要望を受けました。そこで、再三、教育委員会に働きかけたことにより、車椅子やベビーカーでも安心して通ることができるスロープ設置など通路の全面改修が実施されています(平成19年3月末完成予定)。



教育

◆◆学校トイレの改修が一步前進◆◆

臭い、汚い、暗い、壊れているという4K状態の学校トイレの現状について、平成16年12月、17年9月議会での一般質問や決算特別委員会等で「しっかり調査し、早期に改修されるよう」求めた結果、「清潔で快適なトイレをコンセプトにモデル事業の実施を18年度から進める」ことになりました。



現在、東山小学校のトイレの衛生状態が非常に悪くなっています。天井から汚水が垂れて、臭く汚れています。また、設置してあるトイレが壊れていて使用できないまま放置してあります。私たち保護者も平成16年度に『トイレピカピカ隊』を結成し、奉仕作業にトイレ掃除を加え、清潔さを取り戻そうと活動していますが、追いつきません。子どもたちも、くさい臭いがするというので、トイレを我慢している状況です。岡田君、東山小学校のトイレが早く改修されるよう、今後も継続して頑張ってください。同級生としても応援しています。

(平成16年度東山小学校PTA役員 田中 明美さん)

教育

◆◆中学校部活動の備品整備の推進◆◆

平成18年12月議会において、「中学校の吹奏楽部の楽器の整備が不十分であり、個人負担が大きい現実がある。市の責任において、楽器の整備をすすめるように」一般質問で提言したところ、「吹奏楽部で使用する楽器は基本的には公費で負担し、学校の備品として整備すべき」と認識している。豊田市教育研究会音楽部会で、よく実態調査をし、19年度に『音楽備品の次期整備計画』を策定する」と答弁があり、音楽備品の整備計画に方向性をつけることができました。

昨年、初めて市議会を傍聴しました。おかだ市議の質問はわかりやすく、私たちの声を良く聞いて意見を述べて下さっているのがよく分かりました。結果、市から誠意ある回答が頂けた事はありがたく、おかだ市議が私たちの声いち早く対応して下さいのおかげと大変感謝しています。現在40歳の豊田市で一番若い議員と聞きます。今後の益々のご活躍を期待し、応援させていただきます。

(美里プラスバンドクラブ保護者の会 会長 池田 幸恵さん)



財政・税金

◆◆政務調査費の旅費を厳格化◆◆

議員は調査研究等に政務調査費として年間に38万円を使うことができます。その旅費のうち、宿泊費は1泊2食で16,500円支給されていましたが、それ以下だった場合は議員が他に流用していました。それを議会活性化特別委員会の委員として実費精算にするよう主張し、改めました。(しかし、委員会視察の場合は未だに実費精算にできません)



財政・税金

◆◆優遇されすぎの市職員健保組合の見直し◆◆

財政・税金

◆◆議会出席に伴う費用弁償の廃止◆◆

暮らし

◆◆ごみ袋を使いやすく改善◆◆

教育

◆◆利用者を第一に考えた幼稚園の民間移管◆◆

暮らし

◆◆宝来南公園の整備が前進◆◆

……etc.



くらしに関する大事なことを、 市民の皆さんと一緒に勉強しました



おかだ耕一が代表を務める市民団体「市政改革・とよた市民の会」は、各分野の専門家の方を講師としてお招きし、医療・福祉・防災についての市民向けの講座（勉強会）を連続して開催してきました。また、豊田市内の環境問題についても、関心を持って取り組んでいます。これまでの活動についてご紹介します。

2003年（平成15年）

- 8月→合併問題を考える市民集会（三好町議、足助町議も参加）
- 12月→市民講座「公的介護保険制度の経験から、在宅福祉の問題点を探る」

2004年（平成16年）

- 3月→豊田市及び環境事業団（現・日本環境安全事業株式会社）に対して豊田PCB廃棄物処理事業についての公開質問状を提出
→映画「折り梅」上映会（アイプラザ豊田）
- 8月→市民講座「スウェーデン現地から伝える福祉社会の現状」
- 10月→市民講座「介護を支える社会システムの構築…成年後見制度などを中心に」

2005年（平成17年）

- 3月→市民講座「地域医療のあり方を考える」
- 7月→映画「1リットルの涙」上映会（豊田産業文化センター）
- 8月→市長に対し、埋め戻し材「フェロシルト」自主回収に関する公開質問状提出、豊田市内の現地を確認
- 10月→市民講座「小児医療の問題点とあるべき姿」

2006年（平成18年）



2006年8月市民講座の写真（「阪神淡路大震災から学ぶ」）

- 2月→市民講座「悔いのない最期を迎えるために…緩和ケアの現状と問題点」
- 5月→市民講座「防災を考える 東海地震等に備える豊田市の防災対策」
→豊田PCB廃棄物処理施設を見学
- 8月→市民講座「阪神淡路大震災から学ぶ…市民ができる防災対策」
- 11月→映画「地震列島」上映会（アイプラザ豊田）

おかだ耕一後援会収支報告 ※平成18年1月1日～12月31日までの収支報告です 平成19年2月16日県選挙管理委員会報告済

収入の部		支出の部	
内 訳	金額	内 訳	金額
17年からの繰越額	218,581	備品・消耗品費	25,788
寄付		機関紙の印刷費	565,236
個人(25名)	159,925	機関紙の郵送費	368,856
岡田耕一	1,300,000	事務所費	405,420
預金利子	24	光熱水費	30,518
		その他	30,070
収入合計	1,678,530	支出合計	1,425,888
		19年への繰越額	252,642

多くの皆様からのご寄付ありがとうございました。

今後の後援会の予定

- 3月25日(日) 9時30分～
おかだ耕一
後援会事務所開き
- 4月15日(日) 9時30分～
おかだ耕一 決起集会

おかだ耕一後援会事務所



●宝来町4-758-105 (宝来団地ちびっこ広場東)

おかだ耕一を支えるカンパは下記へお願いいたします

三菱東京UFJ銀行 豊田支店(普通) 1113815 おかだ耕一後援会
郵便振替 口座番号 00820-9-205061 おかだ耕一後援会

カンパいただいた方は通帳にはお名前しか表示されません。お礼を申し上げたいため、ご一報下さるようお願い致します。※政治資金規正法により、おかだ耕一後援会は、企業・労働組合等の団体からの寄付は受けられません。

TEL/090-1752-7529
(番号通知のみ受信)
FAX/88-9194
(こーいち)
<http://www.ko1.org/>
E-mail:okada@ko1.org

100%古紙再生紙を使用しています。

市政に関する様々な疑問、質問、要望、情報等
お気軽にご相談ください。